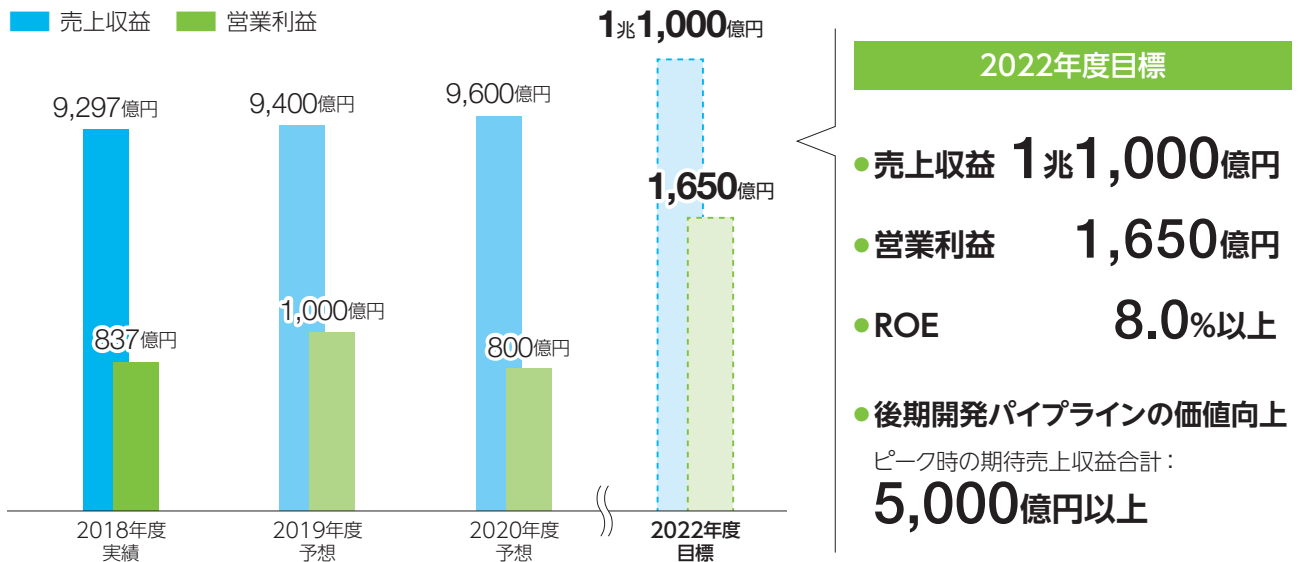


第4期中期経営計画の概要と進捗

2016年度から2020年度までの第4期中期経営計画を2025年ビジョンに向けた転換を実現するための5カ年計画と位置づけましたが、さまざまな環境変化を受け、2018年10月に一部計数目標の見直しを行いました。現在、アストラゼネカ社との戦略的提携を踏まえた新たな計数目標を精査しています。

詳細は ▶ P33参照



目標達成のための6つの戦略目標

| | | |
|---|--|---|
| エンドキサバンの成長 | 日本No.1カンパニーとして成長 | 米国事業の拡大 |
| 成果と進捗 | 成果と進捗 | 成果と進捗 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● グローバル売上収益の拡大 (2018年度売上収益：1,177億円) ● 日本での市場シェアNo.1 (2018年度第4四半期時点) ● ヨーロッパ、アジア各国での市場シェアの大幅拡大 | <ul style="list-style-type: none"> ● 国内医療用医薬品シェア3年連続No.1 ● MR評価7年連続No.1 ● 新製品の継続的な上市 (タリージェ、ミネプロ) | <ul style="list-style-type: none"> ● アメリカンリージェント事業の順調な拡大 (2018年度売上収益：1,178億円) ● インジェクタファーの売上収益拡大 (2018年度売上収益：442億円) ● 第一三共Inc.疼痛事業の戦略見直し |
| がん事業の立上げ・確立 | SOCを変革する先進的新薬の継続的創出 | 利益創出力の強化 |
| 成果と進捗 | 成果と進捗 | 成果と進捗 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● DS-8201：有望な臨床データが蓄積、申請目標時期の前倒し ● U3-1402、DS-1062：良好な臨床データを発表 ● キザルチニブ、ペキシダルチニブの承認申請 | <ul style="list-style-type: none"> ● 各種モダリティへの挑戦 ● DS-1647 (がん治療ウイルス) 承認申請予定 ● オープンイノベーションの進展 | <ul style="list-style-type: none"> ● 欧米の営業体制の最適化 (2016年度、2017年度累計：約550人削減) ● グローバル研究開発体制の最適化 (4拠点閉鎖) ● グローバル生産体制の最適化 (2拠点閉鎖、1拠点譲渡決定) |

成長投資と株主還元

| | |
|--------------------|---|
| 成長投資を優先しつつ、株主還元も充実 | 成果と進捗 <ul style="list-style-type: none"> ● 政策保有株式の圧縮 (3年累計：33銘柄460億円) ● 不動産売却 (3年累計：250億円) ● 事業譲渡益 (63億円) ● 超長期無担保社債の発行 (1,000億円) ● 自己株式取得の実施 (3年累計：1,000億円) ● 総還元性向100%以上維持 (3年累計：114.8%) |
|--------------------|---|